

かながわ県医療的ケア児者家族会 ～つなぐ～

設立4年目 現在 87名会員

横浜、川崎、横須賀、逗子、葉山、鎌倉、藤沢、
茅ヶ崎、平塚、伊勢原、大和、厚木、座間、秦野、
小田原、海老名のメンバーが在籍。

医療的ケア種別は幅広く、比較的、呼吸器の子が多い。

また医療的ケア児者かつ重心児者が多い。

大半が当事者家族（1歳～27歳 令和7年度時点）

20名弱は支援者（医師、看護師、福祉事業所管理者、
ケースワーカー等）

全国医療的ケアラインに所属

当会は要望団体ではなく、当事者交流団体



こころをつなぐ
社会へつなぐ
そして未来につなぐ



私たちは、かながわ県医療的ケア児者家族会～つなぐ～です

我が子の障害がわかった時、「なんでこの子が…」と
先の見えない不安に押しつぶされそうだった。
我が子が医療的ケア児になった時、あまりのマイノリティさに孤独だった。
そんな暗いトンネルのような時期も、
仲間とつながることで明るい未来に変わっていった。
こんな経験をした私たちが立ち上げた会です。

活動内容 情報交換会、勉強会、おしゃべり会など（会費不要）
対象 医療的ケア児者、そのご家族、医療的ケア児者に関わる
専門職の方など
お問い合わせ かながわ県医療的ケア児者家族会 代表 小山
kanagawaikeatunagu202202@gmail.com
お気軽にお問い合わせください。



E-mail



Instagram

医療的ケア児者に関して

人工呼吸器や胃ろう等を使用し、たんの吸引や経管栄養などの医療的ケアが日常的に必要な方。

全国の医療的ケア児は2万人

神奈川県では、1130名（令和3年度県調べ）



当事者家族と繋がって話したい、共感してもらいたい、
経験談を教えてほしいと思っても
どこで出会えるのか、授かったばかりの頃はわかりづらい

↑
会を作れば、連絡さえしていただければ、
当事者家族と話せる場を提供できると考えた！

1, 医療的ケア児者の日々変動する状況、お気持ちに合わせて、
都度、好きな距離感で繋がって頂けるよう、
様々な交流スタイルを用意している。

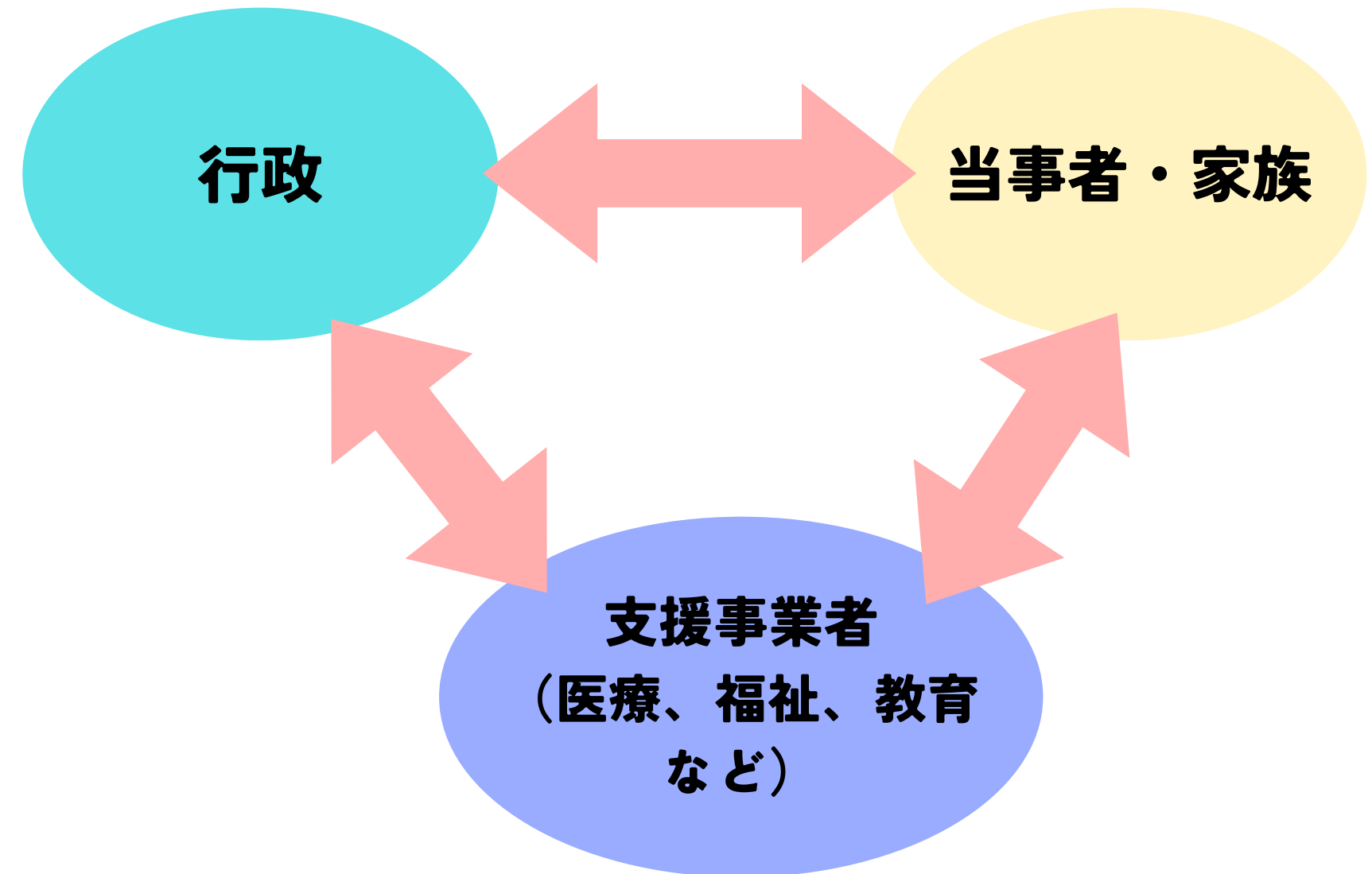


その他に、
グループLINE
個別ピアサポート
交流会なども行っている

2, かながわ医療的ケア児支援センターと共催で交流会を数多く開催し、行政、支援事業者、当事者家族をフラットに繋ぐネットワーク作りを神奈川県各地域で行っている。



学童期交流会



主観、先入観を押し付けず、俯瞰した交流会を開催出来るよう、外部講師を招き定期的に研修を受講

3, 全国医療的ケアライン（通称：アイライン）に所属
（全国45都道府県の家族会をネットワーク化した団体。
会員約4000名。<https://www.i-line.jp/>）



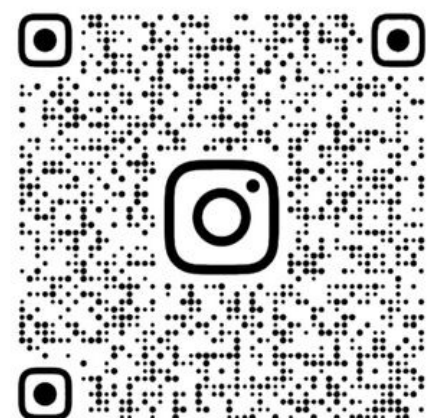
「一人じゃないんだ、同じく医療的ケア児者の方がいるんだ、
頑張って育てているんだ」というつながりをより感じられる



今後の課題

■当会が繋がりが少ない地域がまだあるため、その強化。行政、支援者、当事者家族が三位一体で支援環境を作れるということ
を啓蒙していく。

■ピアサポーター研修を公開し、当会メンバー関係なく、
神奈川県下いろいろな地域で、客観的なピアサポートを
行う風土を作っていく



@TUNAGU_KANAGAWA
Instagram

ご清聴、ありがとうございました！

ピアサポーター研修
——傾聴と要約——
目の前にいらっしゃる方が伝えたいことは何か
語られる言葉の中から、伝えたい内容を的確に捉え、要約することを学びます。
傾聴の基本に立ち返る研修にしたいと思います。

講師
人與人研究会
代表 諏訪茂樹先生
日本保健医療行動科学会会長。医療職・福祉職
の学習支援に30年以上にわたり携わる。著書
『対人援助とコミュニケーション』（中央法規
出版）、『コミュニケーション・トレーニング
人と組織を育てる』（経団連）他、多数。

開催場所
zoomにて
URLはお申し込み後にお知らせします

参加費
無料

申込締切日
12.15 月
10:00 ~ 12:00
12.5 (金)

お申し込みはこちら
お問い合わせ

※講義はレコーディングします。事前にご承諾のうえお申し込みください。

お申し込み後1週間経ってもURLが届かない場合は、
お手数おかけしますが、お問い合わせQRコードもしくはメールアドレスよりご連絡下さい。

主催
かながわ県医療的ケア児者支援会〜つなぐ〜
kanagawakeatunagu202202@gmail.com

